

実践事例6 第3学年 「人間の尊重と日本国憲法」 (14/15)

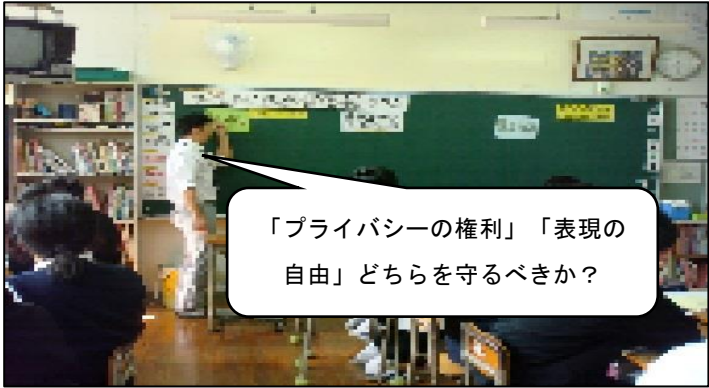
本時の目標

マスメディアやインターネットなどの活動を通して、憲法に記された権利の保護と人権侵害について、根拠を基に理由を付けて自分の考えを表現することができる。

学習問題の設定

マスメディアの活動を通して、憲法に記された権利の保護と人権侵害について、「表現の自由」「プライバシーの権利」をめぐって対立が生じていることを理解させ、意思決定を迫る。

本時の様子

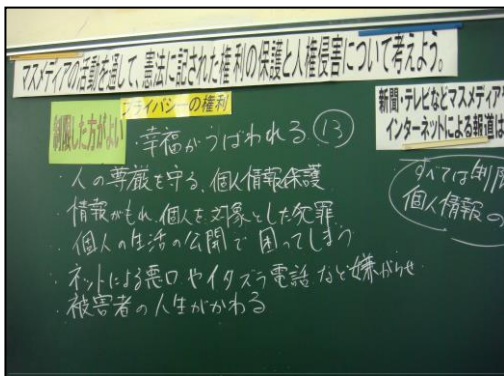
学 習 活 動	教師の指導・支援
<p>○前時までの学習を振り返るとともに、本時のめあてを確認する。 〈グループ〉</p>	<p>○前時までの学習を、教科書やノート、ワークシートなどで振り返らせ、本時の学習のめあてについて、確認させた。</p>
<p>めあて マスメディアの活動を通して、憲法に記された権利の保護と人権侵害について考えよう。</p>	
<p>○「表現の自由」「プライバシーの権利」について、これまでの学習を振り返る。 〈学級全体〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>社会的な問題【解決すべき事柄】 インターネットやマスメディアによる報道について、「プライバシーの権利」と「表現の自由」の保障の間で対立が生じていること</p> </div>	<p>○これまで学習した憲法で認められた権利の中でも、マスメディアに関わりの深い権利について、「プライバシーの権利」と「表現の自由」の保障の対立について確認させ、まとめた意見を振り返らせた。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>
<p>学習問題Ⅱ インターネット、マスメディアによる報道は制限されるべきかどうか。</p>	
<p>○学習問題Ⅱについて、グループでまとめた意見を、その根拠となることと共に発表する。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<p>○前時までの学習でまとめた意見を、理由と共に発表させ、討論をさせた。</p> <p>○グループの意見に対して、「どう思う？」と他の生徒につなげて対話を促し、お互いの考えを共有させた。 [社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること]</p> <p style="text-align: right;">【改善のポイント3】</p> <p>※「プライバシーの権利」「表現の自由」をめぐった対立について調べて分かったことや考えたことを根拠にグループの立場を主張し、理由を付けて主張させた。</p>

○学習問題Ⅱについて、他のグループの意見を聞いて再考する。（意思決定2）



○権利の保護と人権侵害のバランスについて話し合い、まとめる。

〈学級全体〉



○今日の学習を振り返り、次時の学習について確認する。

〈学級全体〉

※友達の見解を聞く際は、「何を根拠としているのか、何を基に理由付けされているのか」を確認しながら聞くように伝えた。

○他のグループの意見を聞いて、最終的に自分の意見をまとめさせた。

○資料から判断したことや、グループで話し合ったことを参考にして、学習問題Ⅱについて、最終的な自分の意見をまとめさせ、ワークシートに記述させた。

[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること]

【改善のポイント3】

※論題について、自分の意見とグループ内での意見を根拠に、最終的な自分の考えを記述させた。

○日本国憲法が国民の権利を守る根拠となっていること、権利には対立するものもあり、その場合は「公共の福祉」により規制される権利があることを確認させた。



○代表の生徒数名に発表させ、今日の学習を振り返らせた。

○次時は、グローバル社会と人権について学習することを確認させた。